



# RULE BOOK

スポGOMI甲子園  
2023  
ルールブック

佐賀大会

Rule Book


# TITLE 競技ルール

1

## ■基本ルール

- 高校生3人組を1チームとする。
  - 参加チームには、軍手／トング／ごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）／吸殻用ごみ袋／ルールブックを配布。
  - 60分の制限時間の中で、決められたエリア内のごみを拾い、その質と量をポイントで競い合う。
  - 10g以下の重量は会場にて、スポGOMI連盟担当者と調整。
- ※オリジナルアイテムなどトング以外のごみ拾い用具の使用可。


## ■ごみの種類とポイント

 **燃えるごみ [赤 30ℓごみ袋]**

紙類／布類／雑誌類／弁当・食品容器包装ごみ／コンビニ袋など

※草／落ち葉／枝／家屋廃材などは含まず。

**100 g → 10 point** ※100g以下は会場調整

 **燃えないごみ [青 30ℓごみ袋]**

ビニール傘／ガラス類／鍋／フライパン  
せともの類／電池／ライター／鏡／金属類など

※小型電化製品（ドライヤー／シェーバーなど）程度の大きさは可。それ以外は粗大ごみ扱い。ブロックやレンガは含まず。

**100 g → 5 point** ※100g以下は会場調整

 **ビン／缶 [赤 30ℓごみ袋]**


中身を捨てたもの

**100 g → 20 point** ※100g以下は会場調整

 **ペットボトル [青 30ℓごみ袋]**


中身を捨てたもの

**100 g → 40 point** ※100g以下は会場調整

 **たばこの吸殻 [半透明 レジ袋]**

たばこの箱は燃えるごみへ

**100 g → 50 point** ※100g以下は会場調整

 **粗大ごみ** ❌

粗大ごみは処理が困難なため、拾わないものとする。  
例：バッテリー／DVDプレイヤー／扇風機／布団／座布団  
／ダンボール／消火器／コンクリートブロック／金庫／金属棒／タイヤ／車輪／マンホールの蓋／三角コーン／コンロ／パソコン／ベビーカー／炊飯器／配布するごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）に入らない大きなごみ など

**マイナス100 point**

## ■減点／失格対象

競技中に走ること／メンバー同士が離れすぎること／粗大ごみを拾うこと／分別方法を無視すること／故意に重量を増やすこと／競技時間を守らないこと／メンバー全員揃って競技終了しないこと

**マイナス100 point**

スタッフの指示に従わない／公序良俗に反する行為

**失格**

# TITLE オリジナルアイテム

2

## 2023年よりオリジナルアイテムのルールが変わりました

### ■オリジナルアイテム賞とは

- 大会参加にあたって、参加チームが独自に考えて製作したゴミ拾いのアイテム。
- オリジナルアイテムを持参して参加したチームにはポイントが与えられる。  
→ 2023年度よりオリジナルアイテム持参によるポイント付与は廃止となりました。
- エリア局と事務局が、総合的に審査してオリジナルアイテム賞を選出。
- オリジナルアイテム賞を受賞したチームにはポイントが与えられる。  
→ 2023年度よりオリジナルアイテム賞受賞によるポイント付与は廃止となりました。

### ■オリジナルアイテムの規定

- 組み立てたオリジナルアイテムの**三辺（タテ+ヨコ+高さ）の合計が115cm未満**であること。
- 組み立てたオリジナルアイテムの**重量が10kg以下**であること。
- 既存製品をそのまま使用することはオリジナルアイテムとは認められない。
- ごみの運搬に特化したアイテムは、オリジナルアイテム賞候補から外れることがある。
- ごみの運搬に特化したアイテム例



### ■オリジナルアイテム審査基準

#### ①実用性、意外性の高いアイテム



#### 事例

##### ▶ストーリー（背景）

成長が早い竹を使ってトングを作成。ごみを掴みやすいようにトングの先端部分を加工。更にトングの先端部分にライトを取り付けることで、自販機の下などの暗い場所にも対応。

##### ▶評価のポイント

100%オリジナルであり実用性が高く、環境にも配慮されていることが評価された。

#### ②ストーリー（背景）の分かるアイテム



#### 事例

##### ▶ストーリー（背景）

福祉を選考しているチームによるアイテムで、授業で出て使わなくなった布などの廃材を再利用して、拾ったごみを入れるバッグを作成。

##### ▶評価のポイント

福祉のことを伝えたいという思いを表現したアイテムになっていることが評価された。

#### ③できるだけ環境に配慮した素材で作成されたアイテム



#### 事例

##### ▶ストーリー（背景）

町にポイ捨てされている壊れた傘を回収し、再利用してバッグを作成。バッグの取手はいらなくなった洋服を再利用。

##### ▶評価のポイント

ごみと化した壊れた傘やいらなくなった洋服を再利用した点が評価された。

## ■競技上の主な注意点

- ① 公序良俗に反する行為を行うこと。
- ② 競技するにあたって、自分自身やチームメンバーの安全に注意を払うこと。
- ③ 交通ルールを守って競技を行うこと。
- ④ 車道に身を乗り出してごみ拾いをしないこと。
- ⑤ 運転手が車内にいる状態で停車している車の前後でごみ拾いはしないこと。
- ⑥ 幅が細い道では車に特に注意すること。
- ⑦ 競技時間・競技エリアを守ること。
- ⑧ メンバー全員揃って競技を終了すること。
- ⑨ 競技終了後、閉会式会場に戻ったことを本部に報告すること。
- ⑩ 川や河川敷には立ち入らないこと。
- ⑪ 私有地には立ち入らないこと。
- ⑫ 競技中は走らないこと。
- ⑬ チームはまとまって行動すること。（先頭と最後尾が10メートル以内）
- ⑭ 電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動しないこと。
- ⑮ ごみの分別区別を守ること。
- ⑯ 故意にごみの重量を増やさないこと。（ごみ箱のごみを加える／店舗からごみをもらう etc.）
- ⑰ 注射針や川の漂流ごみの液体など、危険なものには触れないこと。
- ⑱ 道路の側溝やドブ板を持ち上げて、中のごみを拾わないこと。
- ⑲ 粗大ごみを拾わないこと。  
→例：バッテリー／DVDプレイヤー／扇風機／布団／座布団／ダンボール／消火器／コンクリートブロック／金庫／金属棒／タイヤ／車輪／マンホールの蓋／三角コーン／コンロ／パソコン／ベビーカー／炊飯器／配布するごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）に入らない大きなごみ etc.
- ⑳ スタッフの注意を聞くこと。  
→スタッフの注意を無視する場合は、競技を中止させる場合があります。
- ㉑ 競技中にケガや事故などが発生した場合は、速やかにスタッフの指示を仰ぐこと。

## ■減点／失格ポイント

種類	内容	減点ポイント
競技規則に反する行為	⑩⑪ 禁止エリア（川／河川敷／私有地）に立ち入る行為	-100
	⑫ 競技中に走る行為	
	⑬ チームがまとまって行動しない行為（先頭と最後尾が10m以内）	
	⑭ 電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動する行為	
	⑮ ごみの分別区別を守らない行為	
	⑯ 故意にごみの重量を増やす行為	
	⑰ 注射針や川の漂流ごみの液体など、危険なものに触れる行為	
	⑱ 道路の側溝やドブ板などを持ち上げて、中のごみを拾う行為	
	⑲ 粗大ごみを拾う行為	
競技終了時に関する行為	⑦ 競技時間・競技エリアを守らない行為	-100
	⑧ メンバー全員揃って競技を終了しない行為	
	⑨ 競技終了後、閉会式会場に戻ったことを本部に報告しない行為	
スポーツマンシップに反する行為	① 公序良俗に反する行為	失格
	④ 車道に身を乗り出してごみ拾いをする行為	
	⑳ スタッフの注意を聞かない行為	